

## 「中国报」（中国レポート 第六号）

### 次々と登場する QR コードを利用したサービス

～駅の待合室の椅子がマッサージ機に～

#### ◆スマホアプリと QR コード決済を組み合わせたサービス

中国に出張するたびに、次々と登場する新しいスマホを利用したサービスに感心することが多かったが、それをこのレポートで報告しても、実際に試すことができないため、読者にはあまり実感のわかない話なので、これまで文章化を控えていた。ただ、「第五号」で報告したように、外国人旅行者もスマホ決済が利用できるようになった。そこでこれまでに、筆者が体験した「なるほど！」と感心させられたスマホアプリと QR コード決済を組み合わせたサービスについて報告したいと思う。

#### ◆大連駅の待合室の椅子が全て電動マッサージ機能付きソファーに

大連駅といえば、日本の統治下の南満州鉄道時代に、太田宗太郎氏の設計により 1937 年に完成した駅舎が現在も使われており、さらに上野駅に似ているとされる。

日本と違って中国の鉄道は自由にホームに降りられない。乗車する列車ごとに改札が行われ、まとまってホームに降りる形になっているので、待合室は巨大な空間を必要とする。その待合室の椅子が大連駅の場合、全て電動マッサージ機能付きで、しかも料金の支払いは、QR コード決済で行われている。なんと、椅子に座ると勝手にマッサージが始まり、数分間無料でマッサージをしてくれる。



筆者がタダでマッサージをしてくれる

のはすごいサービスだなと思っていたら、しばらくしたら切れた。世の中そんな甘い話があるはずがない。ただ、疲れも溜まっていたので、思わず追加料金を払ってマッサージしてしまった。

日本なら、マッサージ器の置いてあるスペース（一角）が有り、そこで希望者がマッサージを受けるとするのが普通だが、全部マッサージチェアにしてしまうところが、中国的発想なのだろう。

また日本のマッサージ機のようにコインの投入口はなく、すべて QR コード決済で行われる。マッサージしている間の時間を有効利用するために、大事なスマホに充電できるよう USB 充電ポートもついている。

後で気づいたのだが、初めの数分（2分くらい？）無料でマッサージ機が動くので、椅子を次から次へと移っていけば、タダでマッサージを受け続けることができるのではないかと思う・・・。



#### ◆瀋陽駅は一部のみが電動マッサージ機能付きソファ

大連駅の待合室は全ての椅子がマッサージ機能付きソファだったが、瀋陽駅は一部のみがマッサージ付きソファになっている。

瀋陽は、日本の統治下にあるときは奉天と称されていたが、この瀋陽駅も1910年に現在の形に、太田毅氏の設計によって建設されたもので、こちらは東京駅に似ているとされる。

瀋陽駅でみつけたちょっとおもしろいもの

は、無償のトイレ用ティッシュペーパー



配布マシンである。これはトイレの入口にあって、急な腹痛などでティッシュペーパーを用意していなかったときには、大いに助かりそうである。

ただし、唯一の欠点は微信(WeChat)のユーザーでないと使えないことである。中国人の場合、まずWeChatをインストールしていない人はいないだ

ろうが、外国人の場合は使っていない人もいないかも知れない。転ばぬ先の杖で、WeChatをスマホにインストールしておくことをおすすめする。

「相印」というのは中国の有名な衛生紙メーカーなので、出てくる品物はそれなりのきちんとしたものが期待できると思う。



中国でスマホ決済が浸透して現金が使えなくなっている一つの例として、前ページのようなコイン式の「携帯用充電器」が使われなくなっている事も挙げられるのではないだろうか。中国人（日本人もそうだが）は常に携帯をいじっている。会議中でも電源は切らない。電源を切るのは航空機に乗って空を飛んでいる間だけだ（少なくとも筆者の経験から断言できる）。したがってバッテリー切れをしょっちゅう起こすから、携帯電話をどこでも充電できるようにするのは重要である。昔は「携帯の本体をちょっと貸してほしい、SIM を差し替えて電話をかけさせてもらいたい」と頼まれたり、キャビンアテンダントに「どこかで充電できないのか。もうすぐバッテリーが切れてしまう！」と叫んでいるのを何度か機内で見かけたことがある。

瀋陽駅で、筆者がこのような充電器は珍しいなと思って見ていたら、初老の男性が、「コインしか使えないのか・・・」とつぶやいて立ち去っていった。今どきコインを持っている事自体珍しいので、この機械はほとんど利用されていないようだ。

瀋陽駅のマッサージ機は12分4.99元からで、大連駅と違って、座るとしばらく勝手にマッサージしてくれるという機能はついていない。ただ、大連同様スマホへ充電するためのUSBポートは備わっている。

マッサージの料金は30分9.99元なので、早く駅につきすぎた時などに、試してみてもうどうだろう。



(2019/12 森山博之)

本レポートに関する問い合わせ先：<https://arc.asahi-kasei.co.jp/contact/>